

掘りだそう、自然の力。



2024 英国現代奴隷法に関する表明

カルビー株式会社（以下「カルビー」という）は、2015 英国現代奴隷法第 54 条に基づき、以下のとおり本声明を公表します。本声明は、日本企業であるカルビーと、英国企業であるカルビーグループUK（以下「CGUK」という）を代表してなされたものであり、2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までを対象としています。

1. 当社の事業概要

カルビーは、東京に本社を持ち「私たちは、自然の恵みを大切に活かし、おいしさと楽しさを創造して、人々の健やかなくらしに貢献します」を企業理念とする日本で最大手のスナック菓子製造会社であり、東京証券取引所に上場しています。

CGUKは、イギリスで設立されたカルビーの 100%子会社であるスナック菓子製造販売会社です。

カルビーの経営理念や業務内容についての詳細は、以下をご参照ください。

<https://www.calbee.co.jp/en/corporate/value/>

<https://www.calbee.co.uk/>

また、カルビーの主な製品は、馬鈴薯・小麦粉・油等を主原料とし、調味料・包装資材等を副原料としており、それぞれのサプライチェーンは多岐に亘ります。

2. 強制労働、及び人身取引防止に関する方針

カルビーは、国際的に認められた人権の保護を尊重し、強制労働、人身取引、児童労働等を一切容認しません。

3. 強制労働、及び人身取引防止に関する取り組み

- カルビーは、「カルビーグループ行動規範」、及び「カルビーグループ調達ポリシー」を制定し、人権擁護と強制労働の排除を表明しており、CGUKを含むすべてのグループ会社に周知し、遵守しています。

『カルビーグループ行動規範』

☆人権の尊重

事業活動に関わる全ての人々に対して常に敬意をもって接し、お互いの人権を尊重します。

1. 私たちは、一切の人権侵害に加担しません。
2. 私たちは、取引関係者に対しても人権侵害に加担することがないように働きかけます。
3. 私たちは、人種・民族・国籍・宗教・信条・出身地・性別・年齢・障がい・性的指向・性自認等を理由とする差別行為やハラスメントを行いません。
4. 私たちは、あらゆる形態の強制労働、児童労働、雇用および職業における差別を容認しません。

『カルビーグループ調達ポリシー』

☆ 人権の尊重

1. 国際的に宣言されている人権擁護を支持、尊重し、非人道的な扱いを禁止します。また、人権侵害には一切加担せず、お取引先に対しても加担することのないよう働きかけます。
2. お取引先などサプライチェーン上における人権を尊重し、人種、民族、国籍、宗教、信条、出身地、性別、年齢、障がい、性的指向、性自認等を理由とする差別行為やハラスメントを行いません。

- CGUKは、国際労働機関 (ILO) の条約に基づいて設立された国際的に認められている労働慣行規範である ETI (Ethical Trading Initiative) Base Code を遵守しています。
- CGUKは、英国現代奴隷法の基本ポリシー、そしてそれが示唆するサプライチェーン及び事業への危険について、全従業員が確実に理解する為に、入社研修の一環として英国現代奴隷法に関する教育を施しています。
- CGUKは、Sedex の一員であり、Sedex が提供するオンラインプラットフォーム、ツール、サービスを利用し、サプライヤー情報を管理し、人権・環境等の潜在的なリスクを分析する事によって、責任を持って当社の事業に対し持続可能な経営を行い、労働者を保護します。
- CGUKは、奴隷労働、強制労働等に関与、または支援を行っている事が判明した組織に対して、事業の停止・終了を含めてその是正へ向けて適切に対応します。CGUKは、サプライヤーとの積極的なコミュニケーションを通じて、誠実かつ倫理的に、そしてすべての法律に従って業務を行う事を全てのサプライヤーに理解してもらうとともに、当社の強固な品質管理システムによって、リスクに基づいた適切なデューデリジェンスの実施を可能にしています。
- CGUKの主なリスクは、派遣労働者を確保する為に、意図せず奴隷や人身売買に関与する事です。このリスクを最小限に抑える為、当社は派遣労働者の採用に関して優先サプライヤーリスト (PSL) を運用し、REC (Recruitment and Employment Confederation) に属し、Gangmasters Licensing Authority のメンバーであり、かつ Stronger Together とのパートナーシップを持つ派遣会社とのみ取引を行います。これらの企業は労働に関する然るべき監査を少なくとも年1回受けています。
- CGUKは、現代奴隷問題に関する懸念が生じた場合の連絡先を全従業員に周知しています。

また当社ではPublic Interest Disclosure Policyを運用し、従業員や取引先関係者の双方が懸念について匿名性をもって告発できる環境を整えています。

4. 今後の取り組み

CGUKは、意識向上こそが鍵になると考えています。そのため意識向上に向けたトレーニングを継続的に展開し、従業員に対して定期的に再教育を行うとともに、現代奴隷問題に遭遇するリスクの高い従業員をターゲットとする現行の対策強化を実施し、当社職員の安全を維持する責任を引き続き果たしてまいります。

本声明は、2025年4月18日、カルビー株式会社の取締役会において承認されました。

2025年4月18日

カルビー株式会社
代表取締役社長 兼 CEO

三原 信